

# わん+NAVI

## レスキュー&セラピードッグたちの最新情報



石川県救助犬協会連合会 会報  
平成18年5月1日 第3号発行

### ご挨拶

NPO法人 石川県救助犬協会連合会 理事長 松平 博之

会員各位の努力と多方面からの暖かいご支援を頂戴し、当協会の活動もはや5年目を向かえることとなりました。優秀な犬たちを多数輩出するにいたり誠に喜ばしく、関係各方面の方々に深く感謝を申し上げます。

働く犬たちへの关心や理解も深まる中で、日々の地道な訓練を通してセラピー部門では毎月施設へのセラピー訪問も回を重ね、救助犬部門でも各地での競技会や認定試験において輝かしい成績を収めて参りました。一方では救援活動以外でも保育園から老人の健康施設にいたるまで講演や実演を通して幅広く、使役犬達の能力や訓練の成果を認知していただいております。

『犬も人間も多くの動物達も、それらをとりまく自然全てが大切な地球の仲間です』世界中のどの地にも我々が活動するような不幸な災害が起こらないこと、会員はもとより世界中の人们が健康で幸せな生活を送ることができるよう願いつつ、今後も精進してまいりますので一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



# 活動報告

平成17年

## 1月

- 1月11日 セラピー部門 AAT訪問  
(やすらぎホーム)
- 1月16日 月例訓練  
(辰口町訓練場)
- 1月19日 金沢市消防本部合同雪崩遭難雪中捜索訓練  
(匡王山スポーツセンター)



## 2月

- 2月11日 セラピー部門 AAT訪問  
(南ケアハウス)
- 2月13日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)
- 2月20日 自主訓練  
(金沢北四十万訓練場)
- 2月27日 自主訓練  
(金沢北四十万訓練場)



## 3月

- 3月6日 自主訓練  
(金沢北四十万訓練場)
- 3月7日 セラピー部門 AAT訪問  
(南ケアハウス)
- 3月13日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)
- 3月20日 レスキューデモンストレーション  
(富山天天クラブ)
- 3月21日 ST西日本訓練競技会
- 3月24日 JKC災害救助犬認定試験 (四国ブロック)  
(京都府丹波)
- 3月29日 平成16年度(第8回)石川県災害救助犬審査会  
(石川県消防学校)



## 4月

- 4月7日 デモンストレーション  
(志賀町赤十字奉仕団総会)
- 4月10日 金沢市消防本部合同訓練  
(中央消防署)

## 5月

- 5月1日 平成16年度通常総会  
(津幡町)
- 5月1日 月例訓練  
(津幡町)
- 5月3日 JKC クラブ訓練競技会  
(京都市京都競馬場駐車場)
- 5月22日 JKC クラブ訓練競技会(石川トレーナーズクラブ)

## 6月

6月12日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)

## 7月

7月5日 セラピー部門 AAT訪問  
(南ケアハウス)  
7月10日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)

## 8月

8月6・7日 月例訓練(合宿夜間訓練)  
(白峰)

## 9月

9月3日 石川県防災総合訓練  
(能登町宇出津)  
9月15日16日 2005災害救助犬競技大会  
(東日本災害救助犬訓練施設福島県)  
9月23日 動物ふれあいフェア  
(能美市辰口丘陵公園)  
9月25日 デモンストレーション 防災ボランティア講座  
(健民公園)

## 10月

10月1日 デモンストレーション  
(百万貫の岩まつり)  
10月13日 セラピー部門 AAT訪問  
(南ケアハウス)  
10月22日 デモンストレーション  
(さくら保育園)  
10月30日レスキュー ドッグ講習会  
(金沢北四十万訓練場)

## 11月

11月3日セラピードッグ講習会  
(ブルーナインドッグスクール内)  
11月6日 セラピー部門 AAT訪問  
(大門園)  
11月17日 平成17年嘱託警察犬審査会  
(湖南運動公園)



## 平成18年

### 1月

1月10日 金沢市消防本部特別救助隊  
合同雪中家屋捜索訓練  
(匡王山スポーツセンター)  
1月29日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)

### 2月

2月1日 セラピー部門 AAT訪問  
(戸室和楽ホーム)  
2月12日 救急講習会  
(消防本部2階防災センター)  
2月15日 セラピー部門 AAT訪問  
(やすらぎホーム)  
2月26日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)

### 3月

3月2日 セラピー部門 AAT訪問  
(南ケアハウス)  
3月8日 セラピー講習会  
(米丸小学校)  
3月19日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)  
3月28日 平成17年度第9回石川県災害救助犬審査会  
(石川県消防学校)

## 介護職とアニマルセラピー

成田 理恵

私は、介護職をしながらボランティアでアニマルセラピーをしています。この仕事を始めて、一番最初に施設に取り入れたかった事がAAAでした。立ち上げたばかりの施設で職員も、利用者の人達もお互いに不安だらけという思いは同じでした。私は直ぐに行動に出て今の仲間達と知り合い、施設の許可をもらい、ようやくAAAをすることが出来るようになりました。皆様には本当にとても感謝しています。ありがとうございました。

私はセラピー犬に三匹いる中の一匹の「クリ」をセラピー犬に選びました。犬種はポメラニアンでメスです。家にいる時は、母犬「モモ」と兄弟犬「ショウ」と三匹で毎日ヤンチャしています。中でもクリは一番甘え上手ながらキカン部分もあり、どうすれば可愛く見られるかを知っている、そんな特技を持っている様に思います。

そんなクリですが、やはりいざセラピーの時間になると犬が変わったようにお仕事モードにチェンジするのです。

楽しみに待っていてくれるお年寄りの手の中、膝の上に乗つかると、とてもクリはリラックスし、自分の体から〔癒しビーム〕をたくさん放つのです。特に体が小さめで毛も少ないながらサラサラ、あと何よりも目がウルウルしていて、「本当にぬいぐるみみたいっ！」とお年寄りの人達には人気者なんです。中には普段笑わない人が笑顔を見せたり、麻痺が残っていて日頃あまり動かしてくれない人がクリを触りたい一心で手を伸ばしてくれたり、いつもは部屋から出てこない人が部屋から出てきてくれたり、ほっぺたにくっつけて目を潤します人、昔は犬を飼っていたと話してくれる人、リードを付けてフロアーを散歩してくれる人…上げればきりがありません。この時は本当に自分自身も日頃の仕事とは少し離れ、いつもとは違った目線で皆を見る事ができます。また、新しく新しく発見できる事もあります。お年寄りを癒しているつもりがいつの間にか自分も癒されていることに気付き、あらためて動物の力ってすごいっ！と思われるかもしれません。話が出来なくても、たまにしか会うことが出来なくても、その短い時間の中でお年寄り達はいつもとっても喜んでくれて「くぅちゃん、○○ちゃん又遊びに来てねえ」と言ってくれます。自分の家では生活がままならず、施設などで生活しなければならない淋しさなど、仕事がら本当によくわかります。だからせめて私は少しでも多くのお年寄りの人達にいつも笑顔でいてほしいと思います。なのでこれからもアニマルセラピーを頑張りたいと思います。

## アニマルセラピーに参加して

能田 尚人

愛犬「ワインディ」と共にアニマルセラピーの活動を始め2年が経ちました。犬も、飼い主も何の知識もなく、軽い気持ちでの参加でしたが、松平理事長、会員の皆様の適切なるご指導により、何とか現在に至っております。ありがとうございました。

私が最初に参加させて頂いた老人施設で、いまでもはっきり記憶に残っています。

入居者とのふれあいもありますが、暑い季節ではなかったにもかかわらず、着ていたシャツが汗でびしょ濡れになっていたこと、ワインディが帰りの車内でイビキをかきながら寝ていたことを思い出します。ワインディも緊張したのか相当疲れた様子で、もちろん私も、こんなに疲れるものなのかと思いながら帰ったことを記憶します。ワインディは今でも訪問に行くときは大変喜んで家を出ますが、帰りは車内でイビキをかいて寝ています。

イビキをかいている寝顔を見ていると、愛おしく思い心がなごまされ私がセラピーを受けているように思えてきます。セラピーの原点はこういうことなのかもしれません。入居者と犬とのふれあいも、対人間同士のような気構えがなくなるのかスムーズに入居者とのコミュニケーションが取れるように思えます。派手な活動ではなく、施設側・動物・提供者が同じ目的意識を持ってコツコツと回を重ねればなかなか効果が得られない活動ですが入居者の笑顔、犬が喜ぶ様子を見ていると、とても幸せになります。ワインディも8歳ですのでどれだけ続けられるか分かりませんが、今後も会員の皆様との活動を楽しみにしています。

## 審査会に参加して

中山 光康

「あー終わったー」これが審査会で、最後の足場の階段をSAKURAと下りた時に思った事です。結果は二つとも吼えさせる事が出来なかった訳で、採用ならず。そんなに簡単な事で無いことは最初から判っていたのですが、やはり悔しさとむなしさが込み上げてきました。しかし、落ちたとは言っても、それ以上に得た物の方が遙かに大きかった事も事実です。SAKURAが我が家に来て二年、訓練所から帰って来て自分で訓練をするようになってから一年、この協会に入ったのも救助犬の（犬）ではなくて（救助）の方に引かれての事で、犬の訓練なんて想像もつきませんでした。勿論、訓練競技会なるもの的存在さえ知らず、密かに全国各地で、大きい大会になると実に何百頭もの犬が集まっているなんて思いもしませんでした。いざ訓練、と言う段になんでも言葉が分からぬ、「伏臥」と言われても、「・・・・」意味はおろか読む事すら出来ませんでした。技術は盗むもの。分かってはいるけど、いったい何を盗んでよいのやら、手当たりしだいに袋に詰めて持ちきれなくなつて全部置いて尻尾を巻いて逃げ帰る、学校に通つて二年も経つのに未だに自分の下駄箱の場所すら分からぬ。そんな素人の私が審査会に出られた事自体が信じられない思いです。それもひとえに松平会長や西村さんその他、沢山の皆さんのご指導あっての事だと感謝しています。来年こそは、それは当然の事として、多くの犬を飼っている人のお手本となるような飼い主、そして何より「私は救助犬SAKURAのハンドラーです」と胸をはつて言える様になる為スキルアップに努めたいと思います。



石川県防災総合訓練（能登町宇出津）



デモンストレーション(百万貫の岩まつり)

# 一人でも多くの命を救うために

## 救助犬の育成



特定非営利活動法人 石川県救助犬協会連合会

理事長 松平 博之さん

ます。飼い主に強い意欲と情熱がなければ続けられない活動ですね。

### 普段からの備え、そして地域とのつながりを

災害は発生しないことが何よりですが、いつどこで起きても不思議ではありません。先ずは自分自身の身を守るために、災害時に常に備えおくことが必要だと思います。

非常食の準備や避難場所の確認など、最低限の備えは誰にこうでも重要な意味をもたらします。

救助活動は、時間かたてばたつほど、生存者の発見が難しくなります。また、どんなに救助犬が優秀であっても、正しい情報がなければ上手く活動することはできません。災害や事故現場(=地域の状況)を最も把握しているのは、その地域の住民のみなさんです。救助協会だけでの活動には限界があります。

町内会をはじめ、様々な団体と連携し、地域に密着した地元で活動できる災害救助犬チームを作り上げることが必要だを感じています。

### ゲーム感覚の訓練

活動は、責任が伴うと同時に、二次災害の危険性もあり、人と飼い主双方の命にも関わる活費となります。

### 人命救助を使命とする授業活動には、慎重

な負担が要求されます。そのため救助犬として活動を行うには、特別な訓練を受ける必要があります。しかし、犬には人命救助に対する義務感も史前感もありません。人を差し出すことはあくまでも「かくれんぼ」と同じゲームなのです。さまざまな状況を想定した訓練所で隠れている行方不明者の人を見つけると、褒めてもらひ、ボーナスで遊んでもらえます。向い主とともに遊びの中で繰り返し訓練し、身についたことが、災害時や山岳での救助に活用される訳です。遊びながらといつても、その訓練には多くの時間と手間がかかり

震災や台風、土砂崩れなどで行方不明になっている人を探し出す災害救助犬。日本では阪神・淡路大震災を契機として、我々のような民間団体を中心に育成が進められてきています。



災害時には、会員それぞれが個別に判断して救助犬を連れて現地に向かいます。国内はもとより海外で救助活動を実施する場合もあります。災害地における救助



特定非営利活動法人  
石川県救助犬協会連合会

金沢市金四郎町3丁目39-2  
TEL 050-3365-1484 FAX 076-298-1245  
URL <http://www.sfdtate.re.jp/IIRD/>

#### ●主な事業

山岳救助犬・災害救助犬の作出・研究  
災害や山岳での行方不明者の捜索  
セラビードッグの育成と指導犬の育成  
学校／施設等の実演講演会など

### ワン・ポイント・レッスン

#### -犬の飼い方・しつけ方-

特別な犬だけが救助犬になるわけではありません。正しいしつけと訓練ができるれば、どんな犬でも救助犬になることができます。しつけと言っても犬を叩くと逆効果になります。上手くできたときに思いつきであげるなど、できるだけ多く「会話」をすることが大切です。可愛がっているつもりで、実は負担を与えていたる飼い主をよく見かけます。安易に人間と同じ食事を与えることや、炎天下での散歩などは、犬にとって非常に過酷です。犬の生態をよく理解して接してほしいと思います。



# 石川県救助犬協会連合会

## \*認定犬\*



犬名	生年月日	犬種	性別	認定資格	指導手	所有者
ディー オブ トキヨ シゲル JP CDX	1999. 1.14	ラブラドール レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬	西村 外茂次	西村 外茂次
ブラックスター オブ ワイルド アット ハート JP	2001. 4.23	ラブラドール レトリバー	♂	石川県嘱託災害救助認定犬	高井 良治	高井 良治
ビンゴ オブ ヨコスカ コバヤシ JP	2003. 1.11	ラブラドール レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬	西村 外茂次	西村 外茂次
ニコラ オブ S ウィスタリア	2000.10.20	ジャーマン シェパード	♂	石川県嘱託災害救助認定犬	村田 健太郎	村田 健太郎
アルブラダ オブ フジハウス JP	1998.12.23	ラブラドール レトリバー	♀	石川県嘱託災害救助認定犬	高井 良治	高井 良治
エアロスマス オブ ワイルド アット ハート JP	2000. 3.27	ラブラドール レトリバー	♀	石川県嘱託災害救助認定犬	涌田 美樹	涌田 美樹
フェアリー フォム ススムフジサー	2004. 8.29	ラブラドール レトリバー	♀	石川県嘱託災害救助認定犬	高島 亜矢子	東 武士
APPLE BLOSSOM OF TOYA MATSUI JP T.CH	2000. 5.10	ラブラドール レトリバー	♀	セラピードッグ認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬	高島 亜矢子	松井 幸子
ミニアル ダンサーズ ジェネラルスター	2001. 3.19	コリー	♀	石川県嘱託災害救助認定犬	小山 靖子	小山 靖子
オリビア オブ ヤマトキムラ	2002.10. 3	ジャーマン シェパード	♀	石川県警察嘱託警察犬	西村 外茂次	西村 外茂次
ビーネ フォン シュテル ヴィンター	1998. 9. 6	ジャーマン シェパード	♀	石川県警察嘱託警察犬 石川県嘱託災害救助認定犬	細川 雅人	細川 雅人
バランサー オブ ミハルユキ	2000. 4.28	ラブラドール レトリバー	♂	石川県警察嘱託警察犬	諸江 瑠子	藏屋 憲一郎
アンディー フォン シンシュウタケイソウ	1994.10. 4	ジャーマン シェパード	♂	石川県警察嘱託警察犬	諸江 瑠子	松本 恵
エック フォム ハウスソフト		ジャーマン シェパード	♂	石川県警察嘱託警察犬	諸江 瑠子	釜田 洋光
コティ フォム グロースヴァルテン	1992.10.27	ジャーマン シェパード	♀	石川県警察永久嘱託警察犬	佐々木 秀之	佐々木 秀之
アラン フォンデア ナハトムズイーク		ジャーマン シェパード	♂	石川県警察嘱託警察犬	佐藤 政信	若林 勉
ヨーゼフ オブ イーストマウンテン		ジャーマン シェパード	♂	石川県警察嘱託警察犬	藤井 亮	藤井 亮
Dream of Arabian Nights	1995. 5. 7	ジャーマン シェパード	♀	日本訓練ジーガージーゲリン	島田 馨	北川 正
ANASTASIA OF RUN & RUN JP	2001. 3.26	パピヨン	♀	セラピードッグ認定犬	高島 亜矢子	土屋 紀子
ADVENTURE OF DOG HOUSE YAMANE JP	2000.10.27	ミニチュア シナウザー	♂	セラピードッグ仮認定犬	山本 みどり	山本 みどり
パンラム オブ ノンノンドリーム JP	1997. 6.25	ラブラドール レトリバー	♂	セラピードッグ仮認定犬	大蔵 信之	大蔵 信之
AMALTHEE OF MIYAMOTO GARDEN JP	1997.12.25	オーストラリアン シェパード	♀	セラピードッグ仮認定犬	能田 尚人	能田 尚人
AMALTHEE OF RIE MAMA JP	2001.12.25	ボメラニアン	♀	セラピードッグ仮認定犬	成田 理恵	成田 理恵
BAB OF HIGH TACK FCI	2003.11.13	チワワ	♀	セラピードッグ仮認定犬	大蔵 信之	大蔵 信之
MARIA ROSA APRICOT DANCER FCI	2003. 4.13	ブードル	♂	セラピードッグ仮認定犬	谷口 亜紀	谷口 亜紀
AMBLER OF CASTER JP	2004. 4. 8	ダックスフンド	♂	セラピードッグ仮認定犬	石浦 理恵	石浦 理恵

# 石川県救助犬協会連合会について

## 事業内容及び目的

本会は救助犬による捜索、人命救助とその活動に必要な知識、技術の向上を図ることにより社会への奉仕を目的として活動しています。

- ・災害救助犬・警察犬・セラピードッグほかワーキングドッグ全般の作出・研究
- ・救助犬ハンドラー・指導手の育成
- ・犯罪者の逃走・潜伏場所の捜索
- ・救助犬の必要性についてのPR活動
- ・救助活動、救助犬作出、研究に関する関係各庁と関係団体との連絡協調
- ・種々の状況に対応できる救助犬の作出、研究と不明者捜索
- ・行方不明となったハイカー、キャンパー、子供、認知症老人捜索
- ・あらゆる現場で負傷等により動けなくなった人の捜索
- ・当協会へのボランティア活動者の募集
- ・学校、施設等の実演講演会の実施
- ・国内外における救助犬協会及びそれに類する団体との交流
- ・その他本会の目的を達成する為に必要な事業

協会員数 63 家族 104名 (平成18年3月末現在)  
当協会が加入している団体  
(社会福祉法人) 金沢市・石川県・全国社会福祉協議会

いしかわ災害ボランティアネットワーク  
海守(一部会員)

Ishikawa RescueDogs Association

## 賛助会員募集

当協会の活動は全て会員の無償のボランティアで成り立っています。  
一頭でも多く、楽しく働く犬たちを社会に貢献させるために  
皆さんからの、募金によるご協力をお願いいたします。

郵便振替口座  
振替先 石川県救助犬協会連合会  
口座番号 00710-8-55848  
年会費 ¥3,000 (1年間)  
(通信欄に賛助会員とお書き添えください)

特定非営利活動法人 石川県救助犬協会連合会  
<http://www.sfdato.ne.jp/IRD/>